※令和４年度以降入学生用

学校番号	

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	国語演習 A	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新成現代文」　（尚文出版）						
副教材等	「現代語練習帳　ことのは」　（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・受験対策を意識して、様々な文章に触れ、長文読解能力を身につけよう。
・語彙力を身につけて、実生活に活かそう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に 表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。
(3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の 担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度 を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活を充実させるために必要な基礎的な国語の知識や技能について、その特質を理解し、適切に使っている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や表現力を磨き、自らの思いを互いに伝え合う基礎的な力を身につけようとしている。	言葉がもつ価値に気づき、思考力を伸ばし適切な言語感覚を身に付けようとしているとともに、国語を尊重し、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎力を伸ばそう ［教材］「新成現代文」 「日本のデザイン」 「流転」 「光ってみえるもの、あれは」 「私の読書法」 「日本語の感覚」 「目玉の学校」 「猛スピードで母は」 「大江戸えねるぎー事情」 「学園祭に向けての話し合い」 ［教材］「現代語練習帳　ことのは」 基礎語１～７	ａ：　実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 ｂ［話/聞］：自分の考えが的確に伝わるよう，自分の立場や考えを明確にするとともに，相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫すること。 ｃ：今回の学習内容を積極的に社会生活で活用しようとしている。	定期考査 ラーニングワーク	定期考査 ラーニングワーク	ラーニングワーク
2学期	基礎力を充実させよう ［教材］「新成現代文」 「道徳性とは何か」 「本を片付ける」 「荒衣」 「大人」 「小さき者へ」 「キャラ化する/される子どもたち」 「社交する人間」 「ひなまつり」 「我的日本語　ぼくの日本語遍歴」 ［教材］「現代語練習帳　ことのは」 必修語１～１２	ａ：言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 ｂ［書］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう，根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫すること。 c 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。	定期考査 ラーニングワーク	定期考査 ラーニングワーク	ラーニングワーク
3学期	発展的な力を身につけよう ［教材］ 「会社はこれからどうなるのか」 「ギンヤンマ、再配置プロジェクト」 「ふいに吹く風」 「科学と現実」 「欠けた月」 ［教材］「現代語練習帳　ことのは」 重要語１～６	ａ：主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 ｂ［読］：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握すること。 ｃ：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間
・書くこと　…　（　３０　）時間
・読むこと　…　（　１０　）時間